

雨と寒さを心配しながら、朝を迎えた3月16日。雨は降っていません、ホッと一安心。日本一小さな市「蕨市」の歴史散策に行ってきました。

蕨中山道の宿場町、成人式（蕨では成年式）発祥の地、そして地名もいろいろな説があります、「義経伝説、在原業平」ゆかりの「藁」（藁火村）の説、或いは植物の「蕨」という二つの説が有力とされていますが、定かではありません。最初に訪れたのは「宝珠院」、参道入り口右側には、「わらびリンゴ」の苗がありました（日本一早くなるりんごでものすごく酸っぱいリンゴ）。



宝珠院

このお寺さんは、蕨城主の渋川公と夫人を祀った寺院、群馬県榛名湖等と謂れの深いお寺さんです。このお寺には、雨乞いの竜神伝説があります（戦国時代のはかない伝説）。北条院を後に、旧中山道を板橋側の木戸跡から歩きます、余り面影は残っておりませんが、所々なごり（古い建物）も見られ、数百年余り続く「鰻屋さん」優に100年は過ぎた「酒屋さん」・「和菓子屋さん」そして江戸時代から続く葬儀会社もありました。



蕨宿街並



途中、歴史民俗資料館では学芸員の方から宿場の細かい説明も有りました。蕨宿には面白い橋があります、蕨宿は平たんな立地条件の為堀がめぐらせていて、二か所に跳ね橋がありました。



夜間に堀に渡してある跳ね橋を上げ、盗賊から守ったようです。現存は1ヶ所、個人のお宅が作られたようです（今は暗渠になっておりますが珍しい橋です）。



跳ね橋

此の跳ね橋の近くには「三学院」という（京都智積院の末寺）お寺さんが有ります、創建不明ながら、慈覚大師昨と伝えられる「秘仏十一面観音菩薩立像」が有ります。

その他、玄奘三蔵法師の霊骨が祀られています！。その他にも多々歴史があり、中々歴史のあるお寺さんでした。日本一小さな市ですが、歴史は古い街でした。皆様も一度小さな歴史ウォーク、如何ですか。

「蕨宿は、板橋宿から二里十丁」（2019.3.16 和\_記）



三学院



三仏舎利殿金亀舎利塔

